

清水港 津波防災情報図(進入図)

計算条件：最高水面
隆起量：平均167cm(145cm~180cm)

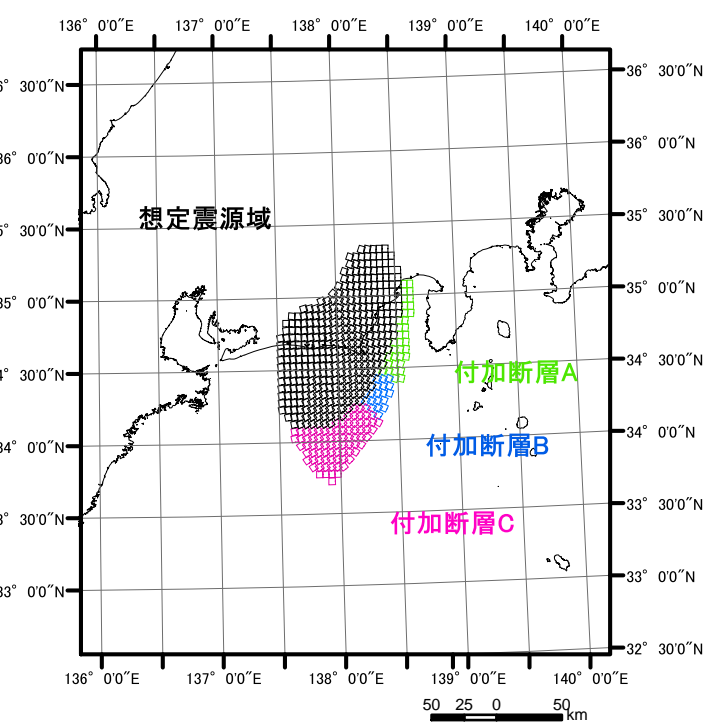
- 津波は、震源の位置、規模、細かな地形の影響などにより、試算した津波と異なることがあり、過去には、今回の津波の試算より大きな津波が来たことがある。
- この地域は震源域である。震源域では、地震発生直後に津波が発生する可能性があるため、津波の到達時間は記載していない。



- 凡例**
- 経時変化回出力点
 - 最大水位上昇
 - 550~最大560cm
 - 500~550cm
 - 450~500cm
 - 400~450cm
 - 350~400cm
 - 300~350cm
 - 250~300cm
 - 200~250cm
 - 150~200cm
 - 進入時最大流 [knot]
 - 3 knot
 - 2 knot
 - 1 knot

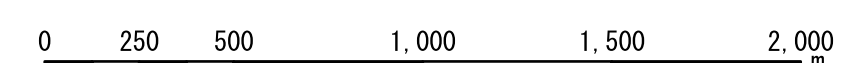
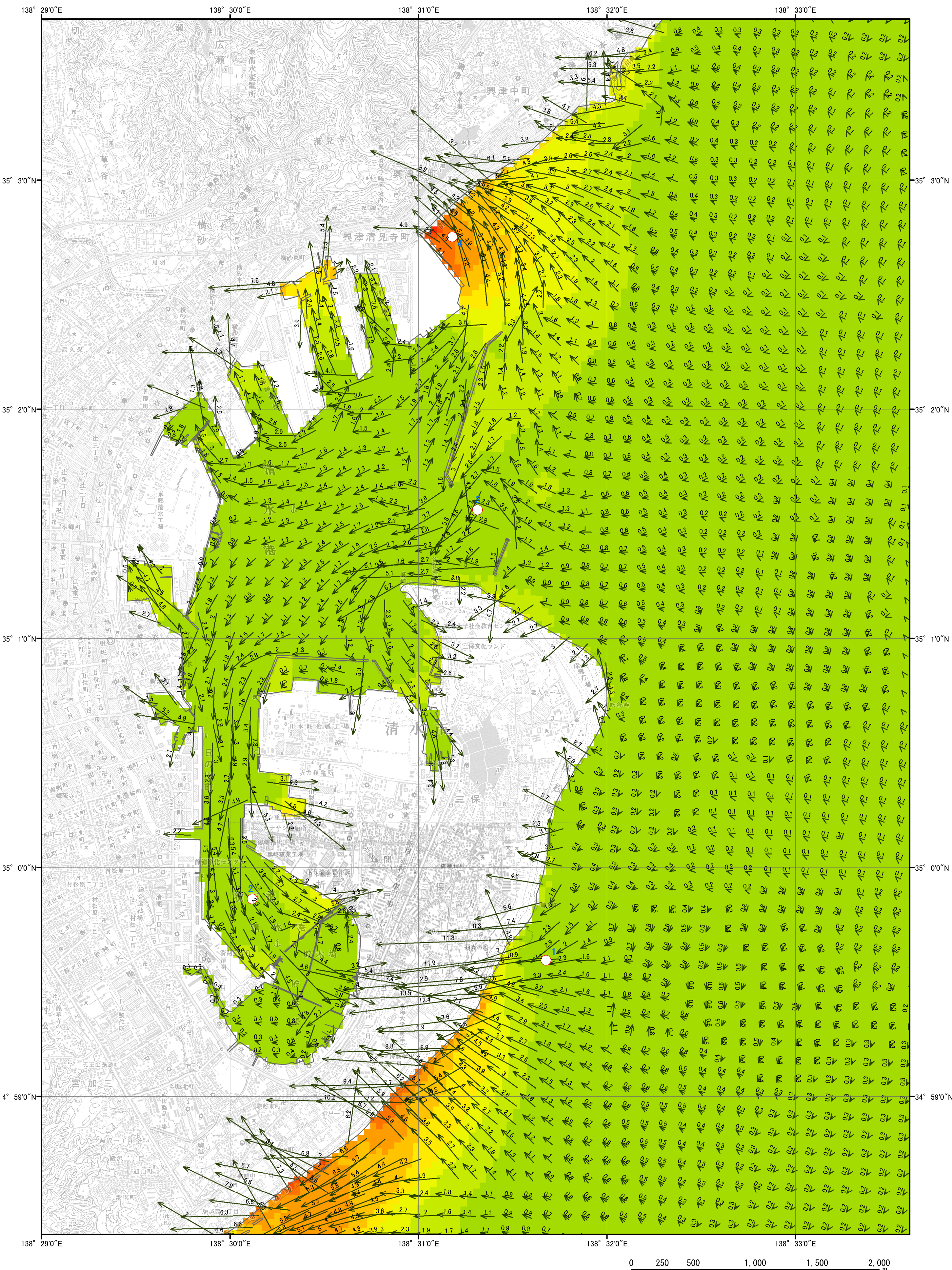
・海岸構造物は、地震・津波の影響を受けないものとして計算している。

想定震源域と付加断層の位置



	中央の概位	中央の深さ
想定震源域	34° 45' N.138° 02' E	19km
付加断層 A	34° 45' N.138° 30' E	4km
付加断層 B	34° 15' N.138° 20' E	6km
付加断層 C	34° 00' N.138° 00' E	7km

・本図は、中央防災会議「東海地震に関する専門調査会(平成13年12月11日)」で公表された断層モデルを使用した。



・試算に使用したデータは、海上保安庁海洋情報部のJ-EGG500、J-BIRD、沿岸の海の基本図地形データ、及び海図を作成する際の基礎データ等を使用した。

・この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。
(承認番号 平15総復、第673号)
・この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。
(承認番号 平15総使、第672号)

作成機関：海上保安庁
作成年月：平成15年 3月(初版)
第1回改訂：平成16年 3月(ver1.2)

経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。

